

血液 II

【Hematology and Oncology II】

担当責任者 診療教授（血液内科） 塚田 順一

ねらい

血液病の発症病態を理解し、正しい診断を下す知識を習得する。
臨床症候から、正しい鑑別診断を行うことを目標とする。
疾患活動性やリスク評価に基づき、治療を選択する能力を習得する。
症例に基づいた診断・治療方法を習得する。
モデル・コア・カリキュラムガイドラインや医師国家資格出題基準に従った、教育を実施する。

学修目標

1. 貧血，リンパ節腫大，出血・血栓の臨床所見より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-4）
2. 白血球増加・減少，貧血・多血，M蛋白血症などの検査所見より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-4）
3. 白血球・赤血球・血小板などの血球や凝固因子の質的・量的異常より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-4）
4. 血算，血液像，細胞生化学，細胞抗原，染色体・遺伝子異常などによる診断方法を説明できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-4）
5. 抗腫瘍薬，造血薬，サイトカイン，免疫抑制薬，輸血を用いた血液病の治療を説明できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-5）
6. 骨髄・臍帯血・末梢血幹細胞移植の原理・適応や方法を説明できる。（Ⅱ-6，Ⅳ-5）

事前事後学習の方法

1. 事前は指定教科書を通読し、予習課題をまとめておくこと。
2. 事後は講義プリントをよく読み復習し、課題をノートにまとめる。

成績評価方法・基準

1. 定期テスト(5割程度)、理解度チェックのための小テスト(3割程度)、課題に対するレポート(2割程度)の結果を基に、受講態度・出席状況等を加味し、総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A・B・C・D・Fの5段階評価とする。

○教科書

内科学 第11版 矢崎義雄総編集 2017年 朝倉書店
ハリソン内科学 第5版 福井次矢・黒川清監修 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル
ワシントンマニュアル 第13版 高久史磨・和田攻監訳 2015年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

○参考書

Wintrobe's Clinical Hematology 14th edition, 2019, Lippincott Williams & Wilkins
Williams Hematology, 9th edition, 2016, McGraw Hill
WHO Classification Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues, revised 4th edition, 2017, IARC Press

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.6	火	Ⅱ	赤血球系疾患Ⅰ(鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血など)	D/F	1/1	1-4/26	塚田 順一
4.13	"	"	" Ⅱ(自己免疫性溶血性貧血・再生不良性貧血など)	"	"	"	東 丈裕
4.20	"	"	白血球系疾患・骨髄性疾患Ⅰ(急性白血病など)	D	1	1-4	塚田 順一
5.11	"	"	" Ⅱ(CML・ET/PVなど)(小テスト・レポート)	"	"	"	北村 典章
5.18	"	V	悪性リンパ腫と類縁疾患Ⅰ(Hodgkin・非Hodgkinリンパ腫など)	D/F	1/1	1-4/27	森本 浩章
5.25	"	"	" Ⅱ(多発性骨髄腫・CLLなど)	"	"	"	"
6.1	"	"	出血性素因と血栓傾向Ⅰ(ITP・TTPなど)	D	1	1-4	塚田 順一
6.8	"	"	" Ⅱ(DIC・AT欠損など)(小テスト)	"	"	"	"
6.15	"	"	末梢血幹細胞移植・骨髄・臍帯血移植の総論と各論	E	3	3,5	東 丈裕
6.22	"	"	化学療法の作用と有害事象と感染症対策(小テスト・レポート) (※)	"	"	"	塚田 順一